

2021年度 個人研究実績・成果報告書

2022年 3月24日

所属	人間社会学部	職名	教授	氏名	朝比奈 剛
研究課題	先進国における社会的課題の解決とSDGsやソーシャル・ビジネス				
研究キーワード	貧困、格差、SDGs、 ソーシャル・ビジネス、 ソーシャル・キャピタル	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	1. 貧困をなくそう	4. 質の高い教育をみんなに	10. 人や国の不平等をなくそう	17. パートナリーシップで目標を達成しよう	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>SDGs、CSR、CSVに基づいた課題解決の実例、先進国の課題のなかでも大きな課題であるアメリカや日本などの先進国における格差の拡大・不平等、そして、格差拡大の背景にあると言われる教育について研究を進めた。②の先進国における格差の拡大と教育に関する研究の成果は、本学での講義科目「グローバル社会論」、「アメリカ経済論」、「アメリカ・ヨーロッパの経済と社会」などに反映された。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>現在、2020年5月出版の『はじめての人間社会学』（中央経済社）の続編（2023年春出版予定）に向けて、原稿を準備中。</p> <p>コロナ禍のオンライン授業への変更といった授業準備の負担が大きく、研究活動に割く時間を確保できなかったため、2021年度の成果としては、著書・論文等はない。</p> <p>3. 主な経費</p> <p>PC関連用品、学会費、文具など、研究に必要な経費を支出した。</p> <p>コロナ禍により、研究活動に割く時間を確保できなかったため、一部の研究費を2022年度に繰り越した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>特になし。</p>					
(本文は2ページ以内にまとめること)					